

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

委員会名	火災性状小委員会	主 査 名：佐藤博臣
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会	委員長名：室崎益輝
設 置 期 間	2001 年 3 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>火災安全計画に有用な以下の分野の研究情報の整備を行って、火災性状研究の到達点の再確認と将来的研究課題を明確化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料・部材・収納可燃物等の着火・燃焼発熱性状 ・ 火災感知・消火等防災対策 ・ 火災による延焼・加熱性状の予測手法 ・ 火災性状予測モデルの相互検証 ・ 火災性状に関する試験測定法の相互検証 <p>(活動計画)</p> <p>初年度：分野別研究戦略の検討と同報告書のとりまとめ 2 年度：成果の公表とフィードバックの整理</p>	
委員構成 (委員名(所属))	佐藤博臣(主査:榎ERS) 鍵屋浩司(幹事:国土技術政策総合研究所) 大宮喜文(東京理科大学) 仲谷一郎(建材試験センター) 鈴木健(消防研究所) 吉田公一(海上技術安全研究所) 高橋済(アイエヌジー) 森田昌宏(東京理科大) 長谷見雄二(早稲田大学) 能美隆(能美防災) 長岡勉(竹中工務店) 鈴木圭一(清水建設) 水野智之(TOM防災研究室) 阿部敏彦(サンユ); 以上14名	
設置 WG (WG 名:目的)	なし	
2004 年度予算	138,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004 年 6 月 16 日(水)6人 2004 年 9 月 17 日(金)5人 2004 年 12 月 22 日(水)6人
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>火災性状研究の到達点の再確認と将来的研究課題を明確化するために、2001~2003 年度までは2つのWG(火災性状データベースWG、火災モデルWG)を設置し、双方で分担して以下の小委員会の活動計画を実行した。</p> <p>火災性状データベースWGでは、多岐にわたる研究情報の効果的な整理のために、過去の特徴的な火災事例の分析等をふまえ、火災安全計画に必要な火災性状に関連するデータベースのプロトタイプを構築し、その実用化のための課題を検討・整理した。</p> <p>火災モデルWGでは、建築基準法の性能規定化の動向を踏まえ既往の火災性状モデルの整理、さらに新たな建築物の火災安全設計ツールの検討を実施した。</p> <p>2004 年度は、両WGの成果に基づいて、21 世紀最初の四半世紀位の火災性状研究の課題と可能性について、社会・設計・技術開発・法基準との関係を視野に入れて、これらを火災性状データベースとして分野別に研究戦略を取りまとめているところである。</p> <p>委員会 HP アドレス:</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>研究計画上、分野別の研究戦略の検討が課題として残されており、火災性状研究の到達点の再確認と将来的研究課題の明確化という設置目的を効率的・効果的に達成するために、今後は総合的に検討して、最終成果をとりまとめたい。</p>
その他評価すべき事項	